

「おまけサロン『正喜庵』」

1. 「おまけの人生」

私の事ですが、本日(7月11日)、満60才(還暦)になります。右は、孔子の教え(論語為政篇)にある区切りの言葉です。私の場合、「志学」は、コンピュータであり、「自立」は、システム開発室という事で、他社のソフト開発もして「業務改善」のプロを目指しました。「不惑」は、業務改善の道を選び、サラリーマン生活から経営コンサルタントとして独立した事、「知命」は、社員を雇い育成するという流れで来ています。

母は、「60を超えるとおまけの人生やから、儲けようと思わずに思い切りやいなさい」と教えてくれています。確かに、現役時代のように、子供や家庭、そして、住宅やクルマなどのローンにお金が必要という訳ではなく、逆に、年金という収入が来る時代になっているのです。これは、大きな流れの変化であります。私は、母の教えのように「人に役立つという事を楽しみにしたい」と思うようになっていきます。本当に「おまけ」と自覚すると気が楽になります。

<p style="text-align: center;">論語為政篇</p> <p>志学(15才)・・師匠について 道を探す</p> <p>自立(30才)・・師匠から独立</p> <p>不惑(40才)・・道を変えない</p> <p>知命(50才)・・天命を知り、 後輩を育てる</p> <p>耳順(60才)・・後輩の言う事 に従う</p> <p>従心(70才)・・あれこれと思 わず自分の思う事をする</p>

2. 「人生、いつでも旬！」

「おまけの人生」は理解できたが、それをどのように実践するかが課題であります。私は、いつまでも「旬」でありたいと思っています。サムエル・ウルマンの「青春」の詩のように、心を常に柔軟に保ちたいのです。「旬」というのは、いろんな考えや定義があると思いますが、食物などの「旬」は、出盛りという新鮮さと量の2面を持っていると思います。私は、この事から人の「旬」も同じように「新鮮さ」と「量」の2面が重要と思うのです。

もちろん、還暦を越える「おまけの人生」ですから、体力的には若い人と同じという訳には行かないですが、「伸び代」という面で衰えたくないのです。新しい事への対応力、その吸収力で成長する力という「伸び代」を重要視したいのです。新しい事へのチャレンジ精神を大切にして、その対応力、吸収力、成長力の3拍子をもつ分野で自分を「旬」に保ちたいのです。その分野は、言うまでもなく、今までの知識と経験が活かされる事が重要なのです。その具現の一つとして「つきの神様を味方にする『ちょっとの差』」という講演・セミナーを商品化しているのです。この延長線上であれば、知識も経験も活かす事が可能なので、自分を磨くことで「旬」を保つ事ができるのです。

3. 「おまけサロン『正喜庵』」

現在、Web で無料セミナーを実施していますが、全国各地の方々とコミュニケーションを楽しんでいます。この「楽しんでいきます」が大きいと思います。無料だからと言って、売込み半分のメルマガが多い中で、「無料とは思えない」という評価を頂くケースもあります。そういう評判をつくって行くことが重要と思っています。

この度、無料セミナー「つきの神様を味方にする『ちょっとの差』」(全20回)を終了する方が出現したのです。多くの方は、1~2回で終るのですが、この方は、約3ヶ月かけて20回を終了されました。本当にありがたい方です。20回のコミュニケーションを通じて、いろんなアドバイスも出来た感じでした。このご縁を大切にする仕掛けとして、まず、バーチャルな環境ですが「おまけサロン『正喜

庵』をホームページ(参照:<http://www.web-ami.com/omake.html>)に開設する事にしましたのです。気楽なコミュニケーションを全国各地の方とメールでやりとりするのも面白いと思います。自分の得意を活かすという意味で良いアイデアだと感心しています。

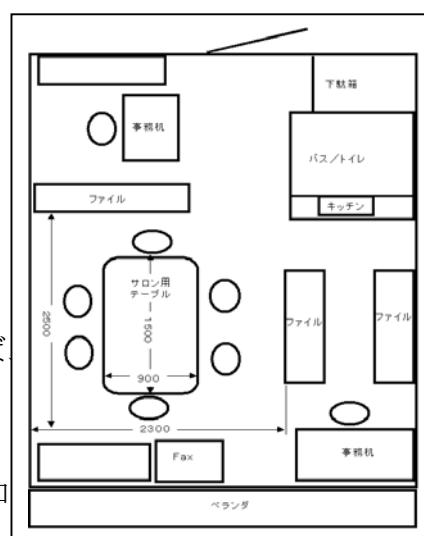
まず、バーチャルなサロンを作ったのですが、右掲のイラストのように、数人が集まってお茶を楽しみながら談話を楽しむサロンを作りたいと思っています。幸いにも、事務所は自己所有なので、どんな風に改造しても構わないのです。約30㎡と狭いですが、数人ならば、大きなテーブルを囲んで談話できるスペースを確保できると思っています。ハードはあるので、講演や会合などで知り合った方々と気楽に談話できるサロンを提案して立ち寄ってもらえるように、いろんな工夫を凝らして行きたいと思っています。



4. 「願いは現実化する」

右図は、当社の事務室をサロン化する為の見取り図であります。これは、概略なので寸法を正確に表したものではありませんが、6人位が楽に集まれるテーブルを用意すると余りお金をかけずにサロン化が可能なのです。私の事ですから、ある時に思い切ってこのレイアウトに着手すると思います。

戦略的に生きて行く事が重要なのですが、余りリスクの大きな投資は控えるべきと心得ています。このレイアウト変更くらいならばどちらかという今この設備、机などの処分が困る位かなと思っています。もう少し、詳細に吟味する必要があるのですが、こういうイメージが浮かんでおります。「願い」は、意外に早く実現できるかも知れないと期待しています。



【まとめ】

1. 論語為政篇にある「耳順」という区切りに来た
2. 「人生、いつでも旬！」＝「つきの神様を味方にする『ちょっとの差』」(講演)
3. バーチャル・サロン「おまけサロン『正喜庵』」(Web版)
4. 「願いは現実化する」＝サロンの見取り図(リアル版)

【AMIニュースのバックログは <http://www.web-ami.com/siryu.html> でご覧になれます！】